

連絡先 電話 054-287-7355 FAX 054-287-7356

Eメール Kodaken0620@yahoo.co.jp

高い国保料を県の財政支援で！ 国保連協に公募枠を！ 12月県議会に8,650筆の請願署名を提出！

12月3日、静岡県社会保障推進協議会は、「国保料（税）引き下げを求める請願署名」8,650筆が宮沢正美県議会議長に提出しました。また「子どもと教育を考える県民会議」から「子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願署名」（9,354筆）も併せて議長に提出されました。

県社保協加盟団体の代表参加者（7名）から、「国保都道府県単位化から4年目となり、国保料（税）を自治体が増え、加入世帯のくらしと健康が脅かされている。高すぎる国保料（税）の引き下げを県の財政支援で」「特に収入が少ないシングルマザー、高齢者、障害者から悲鳴があがっている」「併せて高い国保料（税）や容赦ない滞納処分がされている

が、県民の立場での議論のできる国保運営協議会にするために公募枠をぜひ」と訴えました。宮沢正美議長は「県民の署名は重いもの。厳正に慎重に審議していきたい」と答えました。

※今回、署名にご協力頂いた団体・個人の皆様、コロナ禍での大変な中ありがとうございました。12月14日が第2次（最終）提出になりますので、ある署名は13日までに県社保協事務所（民医連事務所内）までお送りください。

今年も障しず協が県と、障がい者の切実な要望を出して懇談・交渉！

障害者（児）の生活と権利を守る静岡県連絡協議会（障しず協・石上哲夫会長）は11月25日、障害者の切実な要求74項目について静岡県と懇談・交渉を行い、20人を超える会員が参加しました。

参加者は、長年訴え続けている重度心身障害者医療助成制度を現物給付にして窓口負担をなくすことは、全国30都道府県で実施されており、浜松市でも一昨年から実施され、静岡市でも検討されており、県に強く求めました。しかし、例年通りの後ろ向きな回答に、参加者からは「お金は自動償還払いで3か月後に返ってくるが、窓口負担が重くて受診をためらっているもいる。コロナ禍の下で生活が苦しくなっている人もいる中で、お金を持っていなくても安心して医療が受けられるようにしてほしい」と切実な要望を訴えました。

また県内の入所施設の待機者（昨年1200人）が県外の施設を探す事態になっていると指摘し、整備計画の充実、建設・運営に対する県の単独補助制度を求めるなど3時間の懇談・交渉を行いました。



20名を超える障がい者・支援者が懇談・交渉に



宮沢県議会議長（左から4人目）に請願書が手渡される

静岡県社会保障推進協議会第28回総会の日程について

日時：2月23日（水）、13:30～15:30

会場：静岡国労会館からのオンラインでの開催

※ 今回は講演は行わず、活動交流を行います。